



DNW-18019 の概要

課題番号 : DNW-18019

課題名 : 網膜におけるエピジェネティック機構の制御による新規網膜保護剤の探索

主任研究者 (Principal Investigator) :

古川 貴久 (国立大学法人大阪大学蛋白質研究所)

課題番号 DNW-18019 では、眼の網膜におけるエピジェネティックな制御の仕組みに着目し、新たな網膜保護剤の創製に取り組んでいる。

- 創薬コンセプト :

明所視力に影響を与えることなく光障害を減弱し、網膜視細胞の機能低下や変性を遅延・予防できる網膜保護剤の探索。

- 創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス :

以下のことが PI らにより報告されている。

- 1) 網膜のエピジェネティックな制御により、光受容感度が増加することを明らかにした。
- 2) 光受容感度の制御によって、光障害による網膜視細胞の機能低下や変性を減弱することができることを示した。

- 最終目標 :

網膜のエピジェネティックな制御を行うことで、網膜視細胞の機能低下や変性を遅延・予防できるリード物質を創出する。

本資料は、創薬総合支援事業 (創薬ブースター) による支援の終了時の情報をもとに作成しています。